

「多士済々」～“南高の教員”編～

(H29. 7. 26 1学期終業式・ミニ講話から)

うだるような日が続きますが、この暑さに挑むかのように、夏はスポーツイベントが目白押し。国内ではまもなくインターハイや甲子園、世界では今まさにパラ世界陸上や世界水泳などが開催されており、来月4日からはボルトのラストラン・世界陸上が始まります。

テレビやネットに映るさまざまなスーパーアスリート。それに憧れる人も少なくないと思いますが、実は南高にも秘かにスーパーアスリートがいることを皆さん、知っていますか？

正確に言えば、「元」スーパーアスリートなんです。

たとえば、全日本実業団選手権優勝3回、シドニーオリンピック強化指定選手、■■先生。女子柔道の元・スーパーアスリートです。たぶん南高の教員・生徒でウィキペディアに載ってるのは■■先生だけじゃないかな。

次に、フェンシングの元・全日本ナショナルチーム所属、現在はなぜか南高バドミントン部の副顧問、●●先生。知ってました？

さらには、世界とはいかないけど、島根県のレジェンドもいます。

男子走り幅跳びの元・島根県記録保持者で、県選手権9連覇、◆◆先生。9連覇というのも驚きなんです。彼の島根県記録7m57は、なんと10年以上も破られることがなかったんですね。人は見かけによらないと言ったら失礼ですが、……レジェンドですよ。

まだまだいますよ。たとえば剣道七段の現役剣士、今なお「神の領域八段」を目指す△△教頭とか、監督としてかつて全国選抜優勝2回、女子弓道のカリスマ指導者と言われた▲▲教頭、とかね。

南高は生徒の皆さんも個性的で多士済々ですが、先生方にも相当個性的な人がそろっています。今紹介した以外にも、いろいろな才能が、この矢の原には埋まっています。

どうぞみなさん、もっともっと先生方に近づいて、掘り出して、どんどん利用・活用してください。

さて、尋常ならざる暑さです。今日は小難しい訓話はやめにしました。

最後に皆さん、暑さに負けない、へこたれない、自分を成長させる夏休みを送ってください。短いですけど、中身の濃い夏休みにしてください。